

* 2026年 3月改訂(第3版)
2017年10月改訂(第2版)

医療機器届出番号 07B1X10001000003

器51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 吸引チューブ 16779000

ファイコンチューブ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

- 1) 再使用禁止
- 2) 薬液による滅菌は行わないこと。

3) 必要に応じて、チューブの滅菌処理を行う。

[滅菌方法の一例]

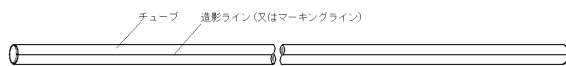
◇方法：高圧蒸気法(オートクレーブ)

◇条件：121℃/20分間

4) 接続する機器類の配管を行う。

【形状・構造及び原理等】

1. 体液等の吸引回路や滲出液等の排液回路用の接続チューブであって、3種類の硬さ（標準：SH型、ソフト：SS型、ハード：HH型）がある。
2. 本品は表1. に示す引張り強度を有している。



*外観図

〈表1. チューブの引張り強度〉

タイプ	呼称寸法	引張り強度
SH	No.00	2.45N(0.25kgf)
	No.0	4.9N(0.5kgf)
	No.1	9.8N(1.0kgf)
	No.2	19.6N(2.0kgf)
	No.3~4	29.4N(3.0kgf)
SS	No.5~10	49.0N(5.0kgf)
	No.4	19.6N(2.0kgf)
	No.5	29.4N(3.0kgf)
HH	No.6~7	49.0N(5.0kgf)
	No.5~8 No.6-10、No.7-9.5	49.0N(5.0kgf)

* 〈材質〉

各部の名称	原材料
チューブ	シリコンゴム

本品はラテックスフリーである。

【使用目的又は効果】

体液等の吸引回路や滲出液等の排液回路の接続用チューブとして使用する。

【使用方法等】

1. 操作方法

本品はディスプレイ製品であるので、一回限りの使用のみで再使用できない。

2. 一般的使用方法

- 1) 配管する各種機器類の接続部の外径を確認し、適切な寸法（内径）のチューブを選択する。
- 2) 配管等に必要な長さを確認し、包装袋よりチューブ（必要により切断し）を取り出す。

* 3. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 滅菌の方法に適した包材を使用すること。[本品の被包は滅菌用の包材ではない]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。

2. 有効期間

- 1) 開封前の製品の使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証（当社データ）による]
- 2) 開封後は、できるだけ速やかに使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927